



関西国際空港・大阪国際空港で地震津波防災訓練を実施

～関西国際空港オイルタンカーバース海上防災訓練も同時開催～

関西エアポート株式会社は、2017年11月8日(水)に、関西国際空港と大阪国際空港の両空港において、地震津波防災訓練を実施いたします。

本訓練では、南海トラフ巨大地震(M9.0)が発生し、大阪府に大津波警報が発表された場合を想定して、ターミナルビル館外の避難場所への避難などを行います。関西国際空港では、仮想設定した火災や道路亀裂などの情報をタブレット端末の画面上に表示させる災害訓練向け拡張現実(AR)アプリ(協力:大阪市立大学都市防災教育研究センター(CERD))を活用した、2期島への津波避難訓練など、より現実味を持たせた訓練を実施します。

また同日に、関西国際空港でのオイルタンカーバース海上防災訓練も実施いたします。地震に起因しオイルタンカーバースへ着積するタンカーから航空燃料の流出事故が発生した想定のもと、事故発生時の迅速で適切な対応の確認とともに、泉州港における防災体制の強化を目的としています。

これらの訓練を通して、関係機関と連携を図るとともに、空港従業員の防災意識向上を図り、地震津波発生時の適切な初動対応を確認することで、空港の安全運用の確保につなげます。

関西エアポート株式会社は、引き続きお客様の旅を支える安全の確保と、空港を安心して利用いただく環境づくりを進めてまいります。

【地震津波防災訓練】

- 日時: 2017年11月8日(水) 15:00~17:00 (小雨決行)
- 場所: 【関西国際空港】第1ターミナルビル、第2ターミナルビル、エアロプラザ、
関西空港駅、展望ホール、国際貨物地区
【大阪国際空港】旅客ターミナルビル
- 参加機関: 【関西国際空港】約200社 機関(地震・津波訓練: 約350人)
【大阪国際空港】約40社 機関(地震訓練: 約500人)
- 訓練想定: (1) 南海トラフ巨大地震(M9.0)が発生し、関西国際空港、大阪国際空港共に震度6弱を観測
(2) 気象庁より大阪府に「大津波警報」が発表され、地震発生から81分後に関西国際空港に高さ2.6mの津波が到達。
- 訓練項目 (1) 地震訓練
(2) 津波避難訓練
(3) 避難者対応訓練
(4) 情報連絡訓練
- 訓練の様子(イメージ)



シェイクアウト訓練



負傷者の救助訓練



ARアプリを活用した
2期島への避難訓練

【オイルタンカーバース海上防災訓練】（関西国際空港のみ）

- 日時：2017年11月8日（水）14:00～15:20（小雨決行）
[予備日：11月9日（木）同時間帯]
- 場所：関西国際空港オイルタンカーバース
- 参加機関：5 機関
（海上保安庁関西空港海上保安航空基地、関西エアポート株式会社、
新関西国際空港エンジニアリング株式会社、関西国際空港セキュリティ株式会社、
関西国際空港内航タンカー海上安全協力会）
- 参加人数：約 125 名
- 訓練想定：地震発生後、関西国際空港オイルタンカーバースへ着積するタンカーから燃料油の流出が
起こり、負傷者、海上行方不明者、火災が発生。その後、大津波警報発表。
- 訓練項目：(1) 初動措置訓練
(2) 情報伝達訓練
(3) 事故発生周知・海上警戒訓練
(4) オイルフェンス展張訓練
(5) ガス濃度測定訓練
(6) 流出油回収および希釈拡散処理訓練
(7) 負傷者搬出救助訓練（陸上救助）
(8) 海上行方不明者捜索・救助訓練（海上救助）
(9) 消火放水訓練
(10) 緊急離積訓練
(11) 緊急避難訓練

- 訓練の様子（イメージ）



消火放水訓練の様子

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
コーポレートコミュニケーション部
Tel : 072-455-2201



関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としています。

関西エアポートは、2015年12月15日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を44年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。

詳しくは、関西エアポート株式会社ホームページ：www.kansai-airports.co.jp/をご参照ください。

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	資本金	250億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015年12月1日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、 管理受託業務等	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界36カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

2014年に50周年を迎え、これからも経営戦略である“「金融+サービス」の加速化”、“アジア等新興国の成長を取り込む”を推進し、新たな事業機会の獲得と持続的な成長を目指すと同時に、社会に貢献してまいります。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、35空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス13空港、ポルトガル10空港（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア3空港、日本2空港、ドミニカ共和国6空港、そしてチリのサンチアゴ空港には、合計で200社を超える航空会社が就航し、2016年の旅客者数は1億3,200万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万1,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。2016年の連結売上高は10億5,000万ユーロに達します。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ジェイティービー、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構